

# アイリーン・スミスが見つめ続けた

## 水俣、そして原発

2024年9月23日（月・休）14:00~16:30

宝塚市立男女共同参画センター1AB

（阪急・JR宝塚 ソリオ2、4F）

講師：アイリーン・美緒子・スミスさん

（グリーンアクション代表・環境ジャーナリスト）

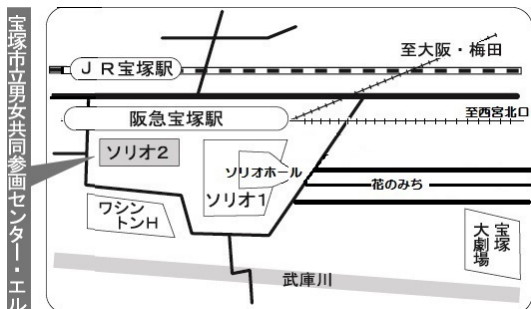


水俣病が公式報告されたのが1956年、それから68年経ってもなおこの病に苦しんでいる人がいます。今年5月に環境省と水俣病患者との話し合いが行われた時、患者がまだ話しているのに時間オーバーという理由で環境省はマイクを切りました。これが政府の態度です。

映画「MINAMATA」（ジョニー・デップ製作2020年）は世界に水俣病を知らせた写真家ユージン・スミスを描いたものでしたが、そのユージンのパートナーであったアイリーン・スミスさんを私たちの会に迎えお話を聞くことになりました。彼女は水俣の被害を写真で訴え、その後は長年脱原発運動に尽力してこられています。

水俣病は日本チッソが調査を隠蔽し、病気の原因を特定するまでに時間がかかり、被害が大きくなりました。福島原発事故による放射能被害も不十分な調査のまま、過小評価され続けています。

「水俣病や原発事故に対し国や企業がとった手法は共通している」アイリーンさんのこの言葉からさらに問題を掘り下げ、市民としてどのように行動すべきかをごいっしょに考えていけたらと思っています。どうぞ、ご参加ください！



予約不要・当日参加歓迎

参加費：300円

主催：原発の危険性を考える宝塚の会

問合せ：0797-74-6091（たなか）